

3

階建ての一軒家を1998年に新築して以来約12年。住み続けるうち、1階部分の使い方をもう少し改善できないかと考え始めたNさん。南側に8畳の洋室と6畳の和室、北側に浴室と洗面室という間取りでしたが、全体に暗く、うまく使われていない空間があつたため、建築家の連健夫さんにリフォームの相談をしました。

連さんが提案してくれたのは、浴室と洗面室を庭のある南側に移設し、サンルームを増築して、そこから浴室、ミストサウナ室、洗面室とひと続きにするプランでした。1階の中心をバスルームにしてしまおう、というかなり個性的な内容です。南側は端から端までウッドデッキをめぐらせ、全面をガラス張りにし、さんさんと陽光が降り注ぐリゾートホテルのようなバルームをつくる。この斬新なアイディアに、家族全員が大賛成したのはいうまでもありません。

Nさんのご主人は、プロスポーツの勝負

の第一線で活躍する人。家で過ごすときは心からリラックスしたい、そのためにはバスルームの充実は不可欠と、この思いきつたりフォームを応援してくれたそうです。

上質な内装材をふんだんに使い、特大サイズの浴槽を採用し、洗面室を6畳以上という広さにするなど、随所にこだわりのあるリフォーム。基調となる色はご夫婦ともに好きなブルー。浴室とミストサウナ室に使ったブルーの濃淡のモザイクタイル、洗面室の水色のガラスモザイクタイル、洗面カウンターのアクアブルーのフロストガラスなど、さまざまな質感とトーンのブルーがコーディネートされ、白い砂を思わせるナチュラルなフロアタイルとあいまって、地中海の美しい海のようなイメージに仕上りました。

また、まわりの自然と室内をうまくつなげることもテーマのひとつでした。庭と、その向こうにある公園の木々の風景、そして空を、バスルームからゆつたりと楽しめる贅沢な空間の完成です。

5

休憩とリラックスのために 極上のバスルームをもつ贅沢

埼玉県 Nさん



Nさんと建築家の連健夫さんは高校の同級生。お互いのセンスと腕を信頼し合う間柄だからこそ、納得のいくリフォームでした。

Data

家族構成／夫婦+子ども2人

住居形態／

一戸建て（築12年）

リフォーム部分／1階浴室、

洗面室、サンルーム、デッキ、

寝室、和室

概算費用／1400万円

リフォーム設計／

連健夫建築研究室・一級建築士事務所

洋室のあった場所を広い洗面室に。向かって右の扉の中に洗濯機があります。フロアは白い砂色のコルクタイル、壁は水色のガラスモザイクタイル。洗面カウンターと吊り戸棚の扉はガラス製で、光線によって透明感のあるアクアブルーやブルーグリーンに色彩を変え、美しい海を思わせる空間に。

サ

ンルームに続くご主人の寝室や、しゃれたデザインのコンパクトな和室など、バスルーム以外のスペースも使いやすく生まれ変わりました。「既存との調和部分と、対比部分がうまくいくと、いいリフォームになりますね」と連さん。設計者と住み手のアイディアのブレンドが成功すると、創造性もアップし、いい発想が出るのだそうです。ご主人も心から気に入っていることが、過ぎし方を見ているとわかるそう。「お風呂に入ると2時間は出てこないんですよ。浴槽につかって、ミストサウナに入つて、サンルームのデッキチエアでくつろいで。私は入浴時、ブラインドを下ろしていますが、主人は開けていることが多いみたい(笑)」。リフォーム完成時、「イメージしていたものよりうれしい驚きがあった」というNさん。人生が楽しくなる過ごし方をまたひとつ、新しいバスルームが教えてくれたのです。



上右／庭側から眺めたサンルームとバスルーム。上左／茶室のようなイメージでつくった4畳半の和室。畳と襖をともに市松模様にし、黒を効かせてモダンなしつらえに。下／サンルームと隣り合ったご主人の寝室。壁の1面に紺色を使い、深いリラクセーション効果を実現しています。照明は「エグロ」製。

「くつろぎの場所を思いきって広くとったことで人生がもっと楽しくなりました」

ーのハーモニーがさわやかな、洗面室からバスルームへの入り口。向かって右手がミストサウナ室、左手が浴室です。もちろん内部は自由に行き来できます。





サンルームへの出入りが自由にできる、全面ガラス張りの浴室。庭に張り出したウッドデッキの向こうは、柵を隔てて公園の樹木という環境なので、人目もあまり気になりません。

Before



2階にLDKのあるNさん宅の1階は、南側に洋室と和室、北側に浴室と洗面室という間取りでした。洋室と和室の用途がいまひとつ定まっておらず、また浴室も狭くて暗く、冬は寒かったため「広くて明るく、気持ちのいいバスルームが欲しい」との要望がありました。